

組合員 各位

新みやぎ農業協同組合 栗っこ地区本部

## 令和3年産水稻作付け誘導について

時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、当組合の営農指導事業につきましては、日頃より特段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、消費地における米の需要は年々多様化している中、栗っこ地区本部では次年産においても求められる米づくりを展開するため、主要銘柄の「ひとめぼれ」を柱に、「つや姫」の高品質化生産並びに、業務用向け多収品種「萌えみのり」の生産拡大を重点的な取り組み内容と位置づけし、令和3年産の水稻作付け誘導を行います。令和3年播種用水稲種子注文内容の最終確認にあたり、作付け品種のご再考をよろしくお願いいたします。

記

### 令和3年産の主な品種誘導について

#### 【ひとめぼれ】・・・環境保全米・ぽっちゃり米（マニュアル米）による生産

ひとめぼれは宮城県を代表する銘柄です。管内の主力品種として、環境保全米栽培ごよみ・ぽっちゃり米（マニュアル米）栽培ごよみに沿った取り組みを推進します。

堆肥散布、稲わらすき込み、土壌改良肥料散布などによる土づくりを基本とし、適切な肥培管理と水管理によって『ぽっちゃり』とした『はり・つや』のある高品質・良食味米生産を目指しましょう。

また、田植え後の高温多照、梅雨入り後の低温・日照不足、登熟期の高温経過などの気象変動の影響を極力回避するため、宮城県米づくり栗原地方推進本部が推奨する“晩期栽培”による安定した米づくりのお取り組みをお願いします。

#### 【つや姫】・・・宮城県の方針 特別栽培基準（環境保全米）で高品質・良食味米の生産

高品質・良食味米生産を目的としたつや姫は、宮城県のつや姫作付け方針を受け、特別栽培基準に則り環境保全米栽培ごよみに沿った取り組みを推進します。

食味・品質を優先する生産を行うため、復元田（大豆後作など）での作付けは好ましくありません。

宮城県のつや姫作付け方針は以下のとおりですので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

#### 「つや姫」の作付け方針（平成27年3月3日 宮城県 農園環第975号）

##### 【基本要件】

- ①南部平坦地帯（標高100m以下）、仙台湾沿岸地帯及び北部平坦地帯（標高70m以下）で栽培すること。
- ②種苗法を遵守し、種子の再譲渡や自家採種を行わないこと。
- ③収穫物は自家消費分を除き、全量を主食用米として出荷・販売すること。
- ④具体的な販売（出荷）計画を有していること。
- ⑤生産者は県へ登録し、県やJA等が各種調査を行う場合には生産履歴や販売（出荷）実績の報告、玄米サンプルの提供等について協力すること。

##### 【面積要件】

「つや姫」の作付面積が概ね60a以上であること。

##### 【栽培要件】

- ①特別栽培（環境保全米等の「特別栽培農作物に係る表示ガイドライン」に準拠した栽培及び有機栽培等）とし、慣行栽培での作付は行わない。
- ②つや姫の栽培方法に則った取り組みであること。
- ③品質を低下させやすい復元田での栽培は行わないこと。

※基本要件（全量を主食用米）を踏まえ、水田活用米穀（政府備蓄米・加工用米・飼料用米・輸出用米・ホールクロップサイレーズ等）を目的とした生産はできませんので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

## 【萌えみのり】・・・JA新みやぎ栗っこ多収穫米生産部会推奨

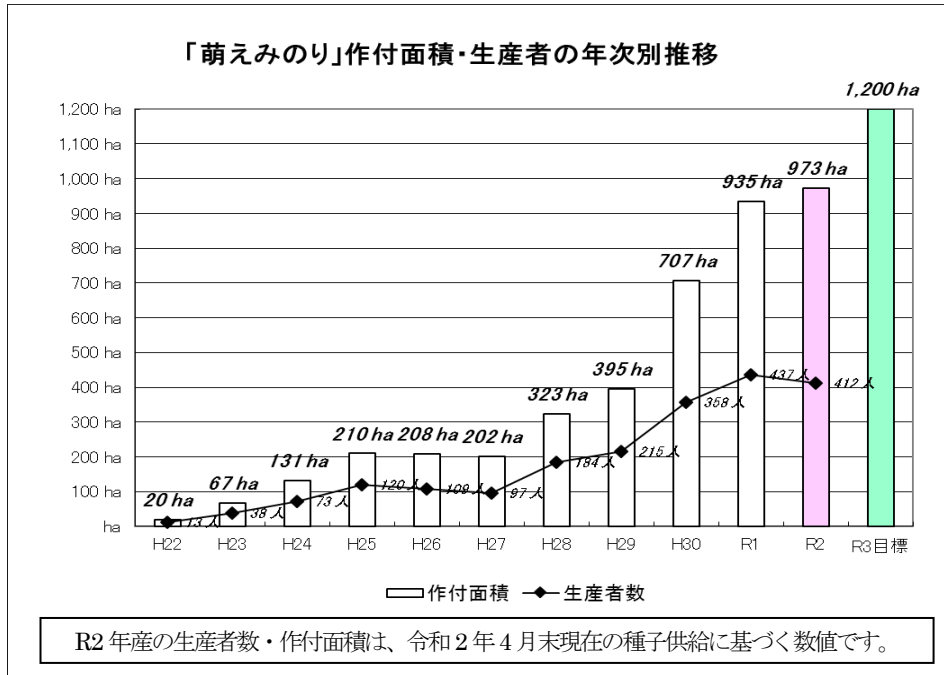
萌えみのりは、倒伏に強く、多収穫で良食味の品種で、栗っこ多収穫米生産部会が推奨しています。

10aあたりの収入増加が期待できる当品種は、管内の作付け誘導計画の中で最重要品種として位置づけられています。耐倒伏性に優れ、転作大豆の後作（ブロックローテーション）に非常に有効な品種です。

萌えみのり専用肥料の使用、適期追肥の実施など、萌えみのり栽培ごよみに沿った安定多収栽培の取り組みを推進するとともに、大手卸との契約栽培で令和3年産では管内1,200haの作付けを目指します。

要望されている数量を確実に供給できる産地づくりのため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、築館CE・若柳CE・栗駒CEの3施設の利用が可能です。



## 【いくよちゃん（東北194号）】・・・JA新みやぎ栗っこブランド米生産部会推奨

東北194号は、“いくよちゃん”の愛称で栗っこブランド米生産部会が推奨しています。

栗っこブランド米生産部会の販路開拓により、令和元年産より魚沼市の大手卸への販売を展開しています。継続的な販売を実施するため、令和3年産では管内30ha（約2,500俵）を目標として取り組みます。栽培方法は、環境保全米栽培ごよみに沿った取り組みを推進します。

## 【ササニシキ】・・・環境保全米・ぼっちゃり米（マニュアル米）による生産

ササニシキは、環境保全米栽培ごよみ・ぼっちゃり米（マニュアル米）栽培ごよみに沿った取り組みを推進します。生産量が少なく希少価値のある品種であり、令和2年産の管内作付面積は120haです。

特に環境保全米づくりによるササニシキは、日本生協連向け原料として取り扱いされており、契約先卸から生産量拡大の要望があります。

ひとめぼれと同様、土づくり、適切な肥培管理と水管理、晩期栽培で安定した高品質米生産をお願いします。

## 【だて正夢・金のいぶき】・・・宮城県が生産要件等遵守による生産

宮城県の新品種「だて正夢」及び「金のいぶき」は、宮城県が定める生産対策実施要領に基づく生産となるため、通常の水稲種子注文書によるお申込みはできません。

令和3年産で作付けを希望される方は、別途申請手続きが必要となりますので、最寄りの営農センターへご相談ください。

なお、生産要件及び遵守事項により、お申し込みができない場合がありますので、予めご了承ください。

【お問い合わせ先】 栗っこ営農部 米穀生産支援課 TEL23-2107

築館営農センター TEL22-3822

南部営農センター TEL38-2139

志波姫営農センター TEL25-3214

若柳営農センター TEL32-2225

一迫営農センター TEL52-3115

金成営農センター TEL42-1246

栗駒営農センター TEL45-5709